

## 新宮山彦ぐるーぶ第1940回 行仙宿並びに持経宿・平治宿の巡回整備

◇実施日：2017年08月11日(金・山の日) 曇り時々薄日  
◇参加者

行仙宿：川島 功、児嶋道夫、生熊敏男、中川治平、畑林秀味、  
畑林清子、大江徳子、竹中卓治、高階美根子。 9名。  
持経宿・平治宿：沖崎吉信、橋本 梓、乾 克己、梶野照雄。  
4名。

### 行仙宿の巡回整備

児嶋さんは、先日登山口の杉丸太を持帰り、チェンソー製材した板でベンチを製作し、登山口に設置するためトラックで行く。

新宮組(川島・畑林・児嶋車：7名)が登山口に着くと、海山・尾鷲組の2名は、既に到着し登る身支度中。

児嶋車からベンチを車転回地へ降ろす。

モノレールを降ろして来て、荷を積み生熊・中川氏は終点へ、荷を降ろし無人で登山口に戻す。児嶋さんは、モノレールのデイズルエンジンのオイル交換をして下さるので、児嶋さんを残し空身でモノレール終点まで登る、風が無く暑くて汗が吹き出る。

行仙宿に9時半頃に到着、気温25℃。風があると涼しい。

女性陣で行者堂内の清掃とお盆菓子のお供えとシキビの取替え。又、トイレ清掃も担当して頂く。

男性陣は、9月1日に東大生とその関係者の体験学習の一環として、薪割り体験をして頂くために、間伐丸太をチェンソーで小切り運搬する作業をする。南端の丸太置場にて、大のチェンソーで生熊さん小切って下さる。

川島は、チェンソー混合油を調整していると、小のチェンソーを使った竹中氏は、切れが悪いことから、刃を交換するも新品が無く、丸ヤスリで目立てを試みるが、やはり切れが悪く、大チェンソー1台での作業となる。



児嶋氏製作ベンチ



丸太切断の準備



玄関ポーチ柱に防腐剤塗布

エンジンオイルを交換して下さった児嶋さんが行仙宿に着き、玄関ポーチ柱等に防腐剤を塗布して下さる。

大勢が参加して下さり、手分けして作業したので早く作業が終わる。毛布を干したかったが、生憎の天候で次回に行いたい。

11時過ぎから昼食となる。中川さんから差し入れのハウスマかんは、冷えていて甘くて美味しい。

児嶋さんがコーヒーを煎れて下さり、スイートポスト、ケーキの差し入れもあり、くつろいで雑談する。濡れた衣服の蒸発熱もあり快適な気温状態であり、下界では暑いだろうと・・・。



昼食・雑談でくつろぐ



スズメバチの巣



昼食後、鳥海山のトレーニングと台風5号による風倒木の確認を兼ねて、行仙岳ピストンへ竹中・高階・畑林清の3名が行く。

川島は、換気の塩ビ排煙突の留め金が腐食して外れているので、止め金を固定する為、行仙宿の玄関小屋根に梯子を立掛けて、止め金をあてると短い。児嶋さんから針金で固定してはと被覆針金を資材倉庫から持って来て、梯子を登って来ると「痛い！」アブでない蜂に刺された様だとの事。先刻居なかったのに、川島の足元にはスズメバチが4〜5匹飛び廻っている。

刺激をしないようにスローに体を動かして、何とか梯子から下に降りることが出来た。

逆光で見難いが、大江徳ちゃんが大きな巣があり、蜂が出入りしているのが、見えるとのこと。

昨秋、管理棟のスズメバチの巣を駆除する際に使った、ハチジエット1本を管理棟から持って来たが、大きい巣(径15cm強)なので駆除剤が足りないのでは、次回に処理するしかない。

大江徳ちゃんが、沖崎さんに電話すると。平治宿に居た沖崎氏と偶然に通話出来、明日梶野氏が行仙宿に行くので、蜂の巣の事を連絡する、程なく持経宿に戻るとの返答があったとの事。

児嶋さんは、左頬を刺されたが、日本蜜蜂を飼っていて、刺されても大丈夫なので、大したことないだろうとの談。



作業を終え登山口にて本日の作業参加者

児嶋さんは、モノレール座椅子に防腐剤を塗ると先行下山。

13時過ぎに行仙岳登頂の3人が戻り、戸締りを確認して行仙宿を発つ。登山口に着くと、児嶋喫茶のトラックが準備中で、ゆつくり休憩して、14時過ぎに登山口で解散した。

帰路、国道168号線の相賀の片側交互通行規制地点で、お盆で帰省の車が渋滞して、通過に約20分待った。

### 行動タイム

新宮7:00→8:30 登山口8:40→9:25 行仙宿↓作業↓11:10 昼食  
12:00↓行仙岳往復・作業↓13:00 行仙宿13:05→13:40 登山口  
14:05(解散)。(記：川島)

### 持経宿・平治宿の巡回整備

お盆の前に盆菓子等お供えの為、行仙宿組と持経宿組に分かれ出向く、我々4人組(沖崎・橋本・乾・梶野)は、持経宿・平治宿を担当した。

お供え品の取替えだけでは、時間もかからないし平治宿巡視を加えても、まだ余裕があるので持経宿・不動堂左側に積み上げデポしている砂・バラス、薪の移管作業もプラスした。

この移動は、以前から木下棟梁から小屋やお堂の建物横にいろいと積上げるのは、風が通らないし湿気もあって良くないと指摘されていた為である。

当日、池原スポーツ公園で8時半前に集合し、沖崎車1台に分乗し出発する。

池郷林道の走行について、二日前に奈良森林管理事務所・下北山事務所の高木弘康氏から電話で「8月7日通過した台風5号の影響で持経宿まで通行可能なれど、落石が多く通行には十分注意して下さい」と連絡をいただいた。

林道に入り4〜5分の2〜3年前に工事中的場所で重機が動かず、後から皆で押した事があったが、この辺りで作業員らしい2

人が山肌に梯子を掛けて何かやっている。車を止め聞いてみると、吹付け工事をやる為の調査で、工事はまだまだ先になるだろうとの事だった。

30分程要しゲートまで来たが、落石は多い、台風5号で崩土もあつた様で重機の入った形跡があつた。

ゲートから先も相当水が流れた様でかなり荒れていた。とにかくパンクしない様ゆっくり走りで行って一時間近くかかって、9時半過ぎに持経宿に到着。



不動堂横の砂・砂利移動



不動堂裏に移管



砂・砂利の移管完了

早速4人で砂・バラスの移動に着手。橋本・沖崎は、三叉路に戻り廃材をストックしている所から、トタン1枚の持帰りと緩みがきているロープを締め直した。

沖崎が近所から頂いた塩化ビニール製一斗缶11個に移し替え、お堂裏に移管する作業に約1時間かかった。お堂の横はスッキリした。

乾さん導師で般若心経を唱え、不動堂に盆菓子をお供えした。11時前から4人で平治宿に向う、途中千年檜祠へもお供えをする。今夏は、不安定な天候で夕立等が多く、山肌に湿りがあるので、大きなキノコがあちこちに生えていた。



千年檜祠お供え替え



ナラ巨木辺りで小休止



大きなキノコだ！

台風の影響を心配したが、持経宿〜平治宿間で鋸を出すことなく、異常はなかった。



第1回千日刈峰行道標



平治宿で昼食



平治宿水場・流れあり

12時頃に平治宿に到着。小屋周りとは室内及び水場を点検(良く流れていた)後、昼食にする。

昼食をしていると大江徳ちゃんから携帯電話があり、行仙宿玄関上の棟屋根軒下に蜂の巣が在るとの事、梶野氏が明日行仙宿へ行く用事があると聞いていたので、梶野氏に蜂の巣駆除をお願いした。



平治宿下山前に奥駈道道標にて



中又尾根分岐ピーク



平治宿を13時過ぎに出発し、14時過ぎに持経宿に戻った。



行仙宿へと尾根を下る

持経宿水場良好！

持経宿・下山前

小休止後、持経宿水場を点検して、15時前に持経宿から下山し池原公園で解散した。

(記：沖崎、写真：乾・梶野)